

# 57 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

Honda Technical College Kansai

## 5年ぶりの完走 さらに上をめざします!

チーム コーナリングオブドリームズ  
Team Cornering Of Dreams



### Presentation プレゼンテーション

マシン名: HTW-08

私達の車両のコンセプトは「高速旋回ブーメラン あらゆるコーナーで最速のコーナリングマシン」です。このコンセプトには、ブーメランのように旋回し、ブーメランのように自分たちの元に戻ってくる（完走）という願いが込められています。

まず、性能面での目標をスキッドパッド5.000秒と定め、その性能を実現するための設計を各部品で行いました。フレームでは、大幅な軽量化を狙いアルミニウムフレームに挑戦しました。溶接・曲げ、共に難しかったものの、2年前の単気筒エンジン搭載車両より、約14kgものフレームの軽量化に成功しました。パワートレインでは、軽量の単気筒エンジンを選択し、スキッドパッド旋回時のエンジン回転数と車速を計算し減速比を設定しました。サスペンションでは、低重心のためにブルロッド式を採用し、軽量のMTB用のダンパーを採用しました。また旋回時、安定したコーナリングができるよう、対地キャンパー0となるジオメトリーに設定しました。

昨年の10月に車両の開発を始めた時は、図面すら描けないメンバーでしたが、学生フォーミュラ活動を通じて日々成長しています。来年にはアメリカ・リンカーン大会に出場する予定です。そこでさらに良い成績が残せるよう頑張ります。

### Participation report 参戦レポート

私達はシェイクダウンを8月上旬に終わりましたが、各所に不具合がたくさんあり、少ししかテスト走行を行えず、車両・ドライバー共に十分な習熟ができていませんでした。

大会1日目、車検に向けマシンの調整を念にし、静的審査ではデザイン審査に臨みました。大会2日目、車検は一発クリアとはなりませんでしたが、簡単な修正で済み、スケジュールに大きな支障はありませんでした。静的審査では、コスト審査・プレゼンテーション審査に臨みました。全体的に静的審査は得点を伸ばせず、合計点は104.23点という低調な成績になってしまいました。資料作りや練習ができておらず、準備不足を痛感しました。

大会3日目、スキッドパッドでは、目標の5.000秒をめざしドライバーが健闘してくれましたが、結果5.256秒と目標達成とはなりませんでしたが、オートクロスでは、ベストなマシン調整とはいかない中、何とかエンデュランスのBグループに入ることができました。

大会4日目、プラクティス後に見つかった燃料タンクのクラックの修復に朝から追われていました。メンバーの協力や雨による日程の遅れに助けられ、修復作業は間に合いました。ウェット走行も覚悟していましたが、紙一重で路面が乾いてくれて無事完走を果たし、最軽量化賞3位、ジャンプアップ賞2位をいただくことができました。

日本大会を通して、チームの絆がより深まりました。1年間の良かったところ、悪かったところを見直し、来年のアメリカ・リンカーン大会に向け、さらに良い車両が作れるように努力していきます。

### 今回の総合結果・部門賞

- 総合28位
- 日本自動車工業会会長賞
- 最軽量化賞3位
- ジャンプアップ賞2位

### Profile チーム紹介・今までの活動

私達は、本校の3年間の基本カリキュラムであるフォーミュラSAE活動でのマシン製作を通じて、企画・設計・製作など学び、自動車開発の力を付けています。1学年ごとに違う車両を製作するので、毎年まったく新しいコンセプトの元、先代車両からの引き継ぎなくゼロから新車両の製作を行います。

### Team-member チームメンバー

#### 奥田 泰斗 (CP)

中村 忠能 (FA)、神通 邦彦 (FA)、濱田 康平、  
和田 真典、筒井 良輝、浅野 誠之、阪口 智亮、  
阪口 公二、栗原 洸太、白鎧 信、川上 翔馬、  
二宮 平、須田 宙也、井上 広大、吉備 亮太、  
西郷 匡瑛、西村 悠輝、黒瀬 賢次郎

### Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、日信工業、深井製作所、  
ハイレックスコーポレーション、F.C.C.、山王テック

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/57.html>